

必要な機能をコンパクトかつパワフルにまとめた リワークステーションシリーズ

はんだ付けに関するリワーク作業に必要なはんだこて、ホットツィーザー、はんだ吸取器、ホットエア（FR-702のみ）の機能がコンパクトに集約され、作業エリアをより効率的に使えるようになります。
また、接続できる各こて部はそれぞれパワーアップしており、従来よりリワーク作業を効率的かつ安全に行うことが可能になっています。



HAKKO FR-701 ESD はんだ吸取器+はんだこて

140Wのはんだ吸取器、Lタイプのはんだこてを標準装備したマルチリワークステーション。2 in 1で省スペースを実現!



HAKKO FR-702 ESD REWORK SYSTEM

はんだ吸取器+はんだこて×2+ホットエア

はんだこて、はんだ吸取器、ホットエアの3つの機能を1台のステーションに集約したリワークステーションです。はんだこては2ポート装備しており、種類の異なる5種類のこて部から選択して接続可能です。

HAKKO FR-701 ESD
REPAIR SYSTEM

■ はんだ吸取器

ハイパワー **140W**

140Wのハイパワーで多層基板のはんだ吸取り作業に最適! 新型ノズルで様々な吸取りに対応。



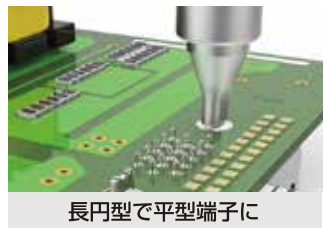
□ はんだ吸取器 HAKKO FR-4103



SS 型で極小ランド径に



ロング型で狭小スペースに



長円型で平型端子に

消費電力を従来品の 50W から 140W へパワーアップし、今まで出来なかった多層基板での部品取外しがストレスなくできるようになりました。作業時間も短縮につながります。新型ノズルの採用で小型化した携帯電話の基板などにみられる極小ランド径、狭小スペース、平型端子までも対応しています。

■ 独自の機能で、はんだ吸取り作業をしっかりサポートします。

- 確実な吸取り作業を実現するバルブ機能
- ACF 機能を搭載することによりはんだ詰まりを軽減
- ヒーター交換が簡単に
- フィルターの大型化と見える化で優れたメンテナンス性を実現

■ はんだこて

熱伝導率の高い **65W**

Lタイプはんだこて (T19 シリーズ) に加え、5 種類のアプリケーションが使用できます。



□ はんだこて L タイプ HAKKO FX-8805
熱容量が大きい T19 シリーズこて先が使える L タイプはんだこて



□ はんだこて M タイプ HAKKO FX-8801
熱伝導率を高めた T18 シリーズこて先が使える M タイプはんだこて



□ N2 はんだこて HAKKO FX-8802
こて先の酸化を防止するだけでなく、はんだ付け性の向上や予熱効果も享受可能



□ 片手 手動式 はんだこて HAKKO FX-8803
「はんだ送り」と「はんだ付け」を同時にできるため、もう一方の手でワークを押さえるなどの作業が可能



こて先の外観、デザイン、内部構造を見直すことで熱伝導率を高めた「T18 シリーズ」「T19 シリーズ」を採用。こて先の外形、及び内部の厚みに差をつけることで T19 の蓄熱がアップし、熱容量が必要な作業もできるようになりました。



T18-B (外径 Φ6.9mm) T19-B (外径 Φ8.5mm)



□ SMD ホットツィーザー HAKKO FX-8804
チップ部品～幅 25mm までの SOP の取外しに便利なホットツィーザー (直熱式)

こて先で直に挟んで、はんだを溶かしてチップ部品を取り外します。直熱式のため、熱風式に比べ熱に弱い周辺部品に対する影響を軽減。



■ ホットエア

高出力 **670W**

従来品から大幅に拡張した設定風量 (最大 115L/min.)・温度の範囲 (50~600℃)。熱量が必要な高熱容量基板のリペアーには「大風量+高出力」でパワフルな熱風を、微細高密度実装基板では「適度な風量+高出力」で十分な熱風を供給することで、リワークの作業効率・安全性を向上させます。



新型ノズルの採用で温度特性向上
ノズル上部に穴を設けることにより、ノズル内で熱風の対流が発生し、ノズル内の外側と中心部を均一に加熱することができ、作業性が向上します。(BGA ノズルのみ)



バキュームピックアップ機能搭載
バキュームピックアップが搭載されているため、部品を吸着して持ち上げることができます。事前に吸着しておき、はんだが溶けると、ばね機構により部品が持ち上がります。無理やり部品を引き上げ、ランドをはがすといったミスを防ぎます。



一目でわかる! ピックアップインジケータ
バキュームピックアップ機能を事前にセットしておくことで、はんだが溶けて部品が自動でピックアップされればインジケータが上にあがり、ピックアップの瞬間を視認できるようになりました。部品がノズルに隠れてはんだが溶けた瞬間がわからなくても、取外しが完了したことがわかるため、簡単で安全なピックアップ作業が可能です。